

CITY OF YOKOHAMA

不登校児童生徒の新たな居場所の開設

公民連携による教育支援センター

2023年9月22日
市長定例記者会見

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

不登校児童生徒の現状

不登校の児童・生徒数は全国的に増加傾向

【全 国】

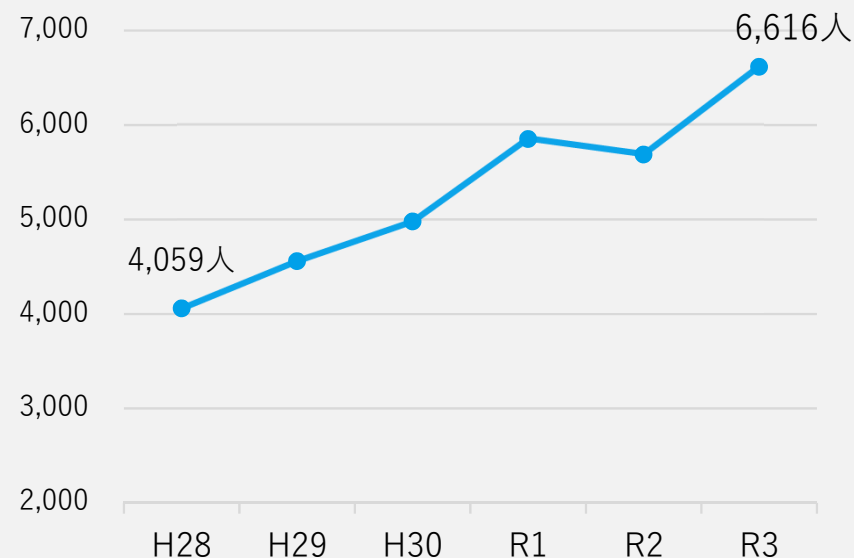
約24万5千人 (R3年度)



文科省「COCOLOプラン」※

【横浜市】

6,616人 (R3年度) 5年間で約1.6倍



※「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」
令和5年3月31日 文部科学省発出

一人ひとりの特性に応じた

- ・ 安心できる居場所
- ・ 個別最適な学び

【 学 校 】



校内ハートフル※
(55校：5年9月現在)

【 校 外 】



教育支援センター
(15か所：5年9月現在)

【 家 庭 】



オンライン
学習教材の活用

※市立中学校で実施している校内教育支援センター

横浜市の不登校児童生徒支援の考え方

【校外】

教育支援センター

(不登校児童生徒の通室施設)

居場所中心 (5か所)

活動内容：創作活動や軽スポーツなど

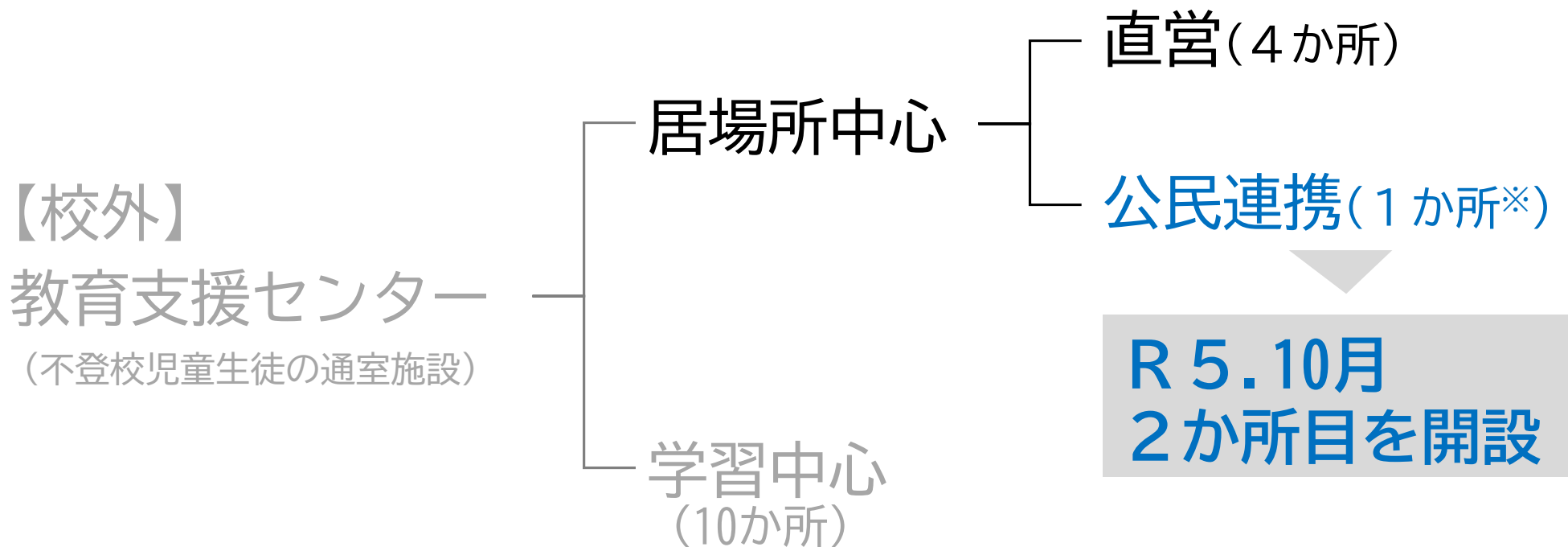
活動目的：自己肯定感・他者と関わる力の育み

学習中心 (10か所)

活動内容：学習等を中心とした集団活動

活動目的：基本的生活習慣の確立・個別最適な学びの確保

横浜市の不登校児童生徒支援の考え方



※既存の公民連携教育支援センター：ハートフルみなみ（南区）

公民連携による新たな教育支援センターの開設

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

ハートフル西部

開設日

令和5年10月2日（月）

場所

泉区いちょうコミュニティハウス
泉区・旭区の地域ケアプラザ等

受託
事業者

一般社団法人かけはし

横浜子ども支援協議会 参画団体
泉区こども若者の居場所連絡協議会 運営団体
2022年度キララ賞（かながわ若者生き生き大賞）受賞
不登校児童生徒の居場所事業のほか、
地域カフェ・農園体験事業等を実施

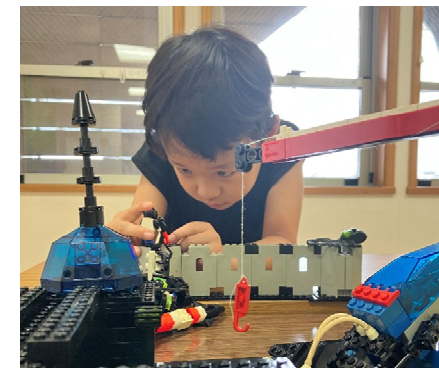


公民連携による教育支援センターの特長

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

■民間のノウハウを取り入れた支援

多彩な体験活動によって、子どもの興味関心を高める

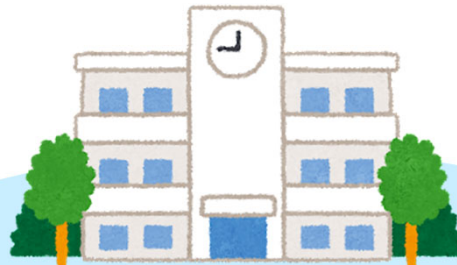


■地元根ざした民間団体ならではの活動

地域住民との関わりや地域活動への参加を通じ、
子どもの社会性を育む



学校



家庭



校外



安心できる居場所
個別最適な学び



オンライン